

★タロとジロの日
南極観測隊の2匹のウサギが、南極に置き去りにされた。フタ犬の生存が確認された。門松などを取り外す日。関東地方では7日頃までに外すところも

★十四日年越し
☆飾納・松納
☆新年の飾り付け

地域をつなぐ郷土の新聞
信州民報
広告募集中心!
会社や商品、イベントなどPRしませんか?

信州民報

2026年(令和8年) 1月14日(水曜日・赤口)
発行所 信州民報 日刊:日・月・祝日及び祝日の翌日 休刊
〒386 長野県上田市秋和問屋505 TEL 0268-22-7355 FAX 0268-22-6866
〒386 長野県上田市秋和問屋505 TEL 0268-22-7355 FAX 0268-22-6866
購読料 1ヵ月1,580円(税込み・送料別)

創業100余年。地域の皆様から愛されるくみのお菓子の店です。

くみのお
株式会社 飯島商店
〒23-2150 40
田中本店 Tel (62)0236

「あねなんまくチョコ」でおり、「いびくる(いじら)」「うわつ(表面)」「さつち(十分)」など、地域に古くから伝わる話や言葉が満載だ。この日は小学校児童、同教育文化部・塩川寿友会長は「ごんち、よく来てくれた。今日はずげえ、のくえ日だから、胸くくりして頑張つて」と、方言で開会のあいさつをする。

3・4年生 1・2年生 児童らは5・6年生、園児で4人ぐらいたつ丸剣に礼を取り合った。真剣に総れを取り合う



入江氏の講演の様子

上田市の(社)福災に「1995年1月17日の阪神淡路大震災」20に合わせ実施したものだ。上田市の(社)福災に「1995年1月17日の阪神淡路大震災」20に合わせ実施したものだ。上田市の(社)福災に「1995年1月17日の阪神淡路大震災」20に合わせ実施したものだ。



大会には50人が参加した

が決まり、決勝戦は2試合。総れを真剣に追つていた、小学3年生女児は取材に「お年寄りが話す方言は何となくわかる」とし、「方言カルタは地域の方言が覚えられ、やってみてもおもしろい」と話す。

宮下会長は、取材に「葉は文化、方言も文化の一つ。地域の方言を子どもたちに知ってもらいた」とし、「今は正月でも、羽根つきも風揚げもやらない。小・保が一緒にたつてのカルタ取りをお正月の遊びとしてやり、思月に残してもらいた」と話していた。

大震災で被災した人の作文「板の上で動かぬ母」を学生が朗読し、「災害」と向き合う大切さを感じています」と話した。松本大学・地域防災研究所の入江さやか教授が、「南海トラフ地震と私たちの生活にも大きな影響がある」と述べ、防災の大切さを伝えた。

分りやすい説得力のある講演を、参加者だけなく実行委員も真剣に聴講。さらに安達寛子さんが「南海トラフ地震」について、模型を使いながら解説した。交流した。

上田市 上小教育会館で開催 24日 「赤松小三郎講座」 赤松小三郎講座は24日(土)午後1時30分、上小教育会館で開く。演題は「赤松小三郎と天宮小教育会館で開く。受講無料 申し込み不要 問い合わせは高橋さん ☎25・2873へ」

未知の世界はもしろい

図書館システムソリューション
システムインテグレーション
エンタープライズ
アウトソーシング

株式会社 ANX

〒386-1211 長野県上田市リサーチバール813-11
TEL 0268-37-1500 URL: anx.inc
本社・長野支社・東京支社・中南信支店・群馬支店

健康生活を応援します <医療と介護も>

医療法人 慈修会
〒386-0002 上田市住吉322
① 上田腎臓クリニック
内科・外科・泌尿器科・腎臓内科
婦人科・人工透析(75床)
老人保健施設(ほのぼの)
(定員99名・デイケア30名)
TEL 0268-27-2737

神科訪問看護ステーション
TEL 0268-27-6736
神科地域包括支援センター
TEL 0268-27-2811
(上田市委託)